

8-4-5 無電柱化WG

1. 主な活動の記録

(1) 無電柱化 WG の開催

WG 開催回数：7 回（7 月～11 月）

支部との合同 WG：3 回（4 月～10 月）

(2) 対外活動

a) 平成 29 年度 道デザイン研究会

無電柱化推進部会への参加

平成 28 年 12 月の無電柱化推進法施行を背景に、産官学で無電柱化の更なるコスト縮減が求められ、国土交通省道路局環境安全課の要請により、道デザイン研究会 無電柱化推進部会へ参加およびコスト縮減のためのケーススタディ 3 地区〈生活道路、駅前商店街、郊外景勝地〉について検討を行った。

無電柱化推進部会は、学識者、民間有識者の他、電力 WG、通信 WG、行政 WG、民間 WG、コンサル WG で構成され、検討結果はコンサル WG として報告した。

- ・無電柱化推進部会：6 回（5 月～2 月）
- ・合同現地踏査：3 地区

b) WG 活動

無電柱化推進部会用のケーススタディ 3 地区について、WG メンバーの担当を決め、「従来方式」、「他地区の事例のある低コスト活用案」、「新たな取り組み案」について、概算工事費を含め比較検討を行った。

検討にあたっては、合同現地踏査とは別に WG メンバーで現地調査を行い、他地域での適用性を踏まえ、道路条件等は極力一般化し実施した。

c) 支部との合同会議

全国の無電柱化における低コストの事例や事業の制約条件等を広く把握するため、道路専門委員会所属各社、建コン支部に協力要請を行い、本部 3 社 6 名、支部は 6 支部 7 名（北海道支部、北陸支部、近畿支部、中国支部、四国支部、九州支部）に参加頂き、国土交通省道路局環境安全課とコスト縮減に向けた意見交換等を行った。

また、本会議を通じ各地整の低コスト事例集を作成した他、上記メンバーには、ケーススタディ 3 地区のオブザーバーとして参画して頂いた。

d) 活動成果

今年度の活動成果は、平成 30 年 3 月 20 日に開催された「無電柱化低コスト化セミナー」（参加者が 200 名以上）で、WG 長が低コストケーススタディについて講演した。

また、以下の手引きに検討内容が取りこまれた。

- ・道路の無電柱化低コスト導入の手引き（案）Ver.1 見直し案 平成 30 年 3 月
道デザイン研究会 無電柱化推進部会

2. 次年度の活動について

道デザイン研究会等、今年度の活動を継続実施するとともに、全国のモデルケース地区のアドバイザー等を行う。

（無電柱化WGWG長 土井 和広）